

グループディスカッション

2022年7月 全国HP責任者会議

松愛会 会員



...



...

↑ ↓ 双方向

FormMailer

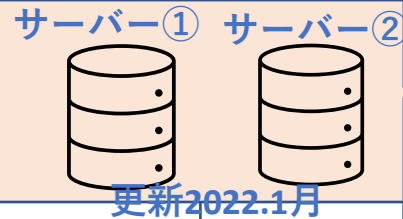
↑ 本部メルマガ

さぶみっと!

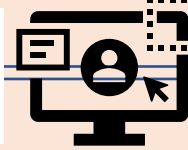
↑ 支部メルマガ

紹介 acmailer

限定 Mail Poet



WORDPRESS 2019~



HP 本部/支部

個人認証 無し

個人認証 有り

- フォームメーカー (個人認証者限定)
- ・ 行事参加申込み
 - ・ 会議出欠確認
 - ・ 議案書賛否投票
 - ・ アンケートなど

:: 以下 会員限定コンテンツ ::

訃報速報

会員の動静

特典情報

今月の健康情報

会報「松愛」電子版

創業者 (経営者ほか)

業務・会員管理

「E-MAIL2」が支部にて変更可能 (2022.2月~)

「SSO認証日時の確認 (リアルタイム)」

業務システム ログイン

会員管理 ログイン

* 特記

紹介 サーバ更新を機に、全支部使用可能 (2022.2月~)

限定 先行「大阪市内支部」、
「河内和泉支部」に限定

会員管理
ログイン

「E-MAIL2」が支部にて変更可能（2022.2月～）

携帯番号 090-●●●●●●●●

E-MAIL1 ●●●●●●●●@yahoo.co.jp
 (*E-MAIL1は、業務システムのメールアドレスと連携しています。

E-MAIL2 ●●●●●●●●@yahoo.co.jp

支部 栃木

本部管理
*SSO認証のメールアドレス
*本部メルマガに使用

支部管理（2022.2月～）

ダウンロード、アップロード【支部にてE-Mail2変更可能（2022.2月～）】

フリガナ	氏名	支部	E-Mail1	E-Mail2
カ**シゲ**	主**俊	栃木	aaaaaaaaa@yahoo.co.jp	aaaaaaaaa@yahoo.co.jp
ク***サ**	**聡	栃木	bbbbbbbbb@kk.jp.panasonic.com	
コ***ジ**	**淳	栃木	ccccccccc@yahoo.co.jp	ccccccccc@yahoo.co.jp
コ***シ***	**信*	栃木	ddddddddd@sky.hi-ho.ne.jp	ddddddddd@sky.hi-ho.ne.jp
コ**ヒ**	**広*	栃木		
コ**マ***	**正*	栃木	eeeeeeeeee@gmail.com	eeeeeeeeee@khaki.plala.or.jp
サ***ヒ**	**秀*	栃木	fffffff2016@icloud.com	fffffff2008@mb.gyao.ne.jp
サ**ヨ**	**良*	栃木	ggggggggg@serenade.plala.or.jp	ggggggggg@schit.co.jp
ナ***サ**	長**定*	栃木	hhhhhhhhh@nifty.com	hhhhhhhhh@nifty.com
ノ**カ**	野**男	栃木	kkkkkkkkk@docomo.ne.jp	

個人認証無し

1と2でメール違う

1と2でメール違う

1と2でメール違う

メール拒否解除済み

業務システム
ログイン ▶

「SSO認証日時の確認（リアルタイム）」

人事登録 ▶

閲覧のみ【将来的に、会員管理システムと連結（ダウンロード可能）】

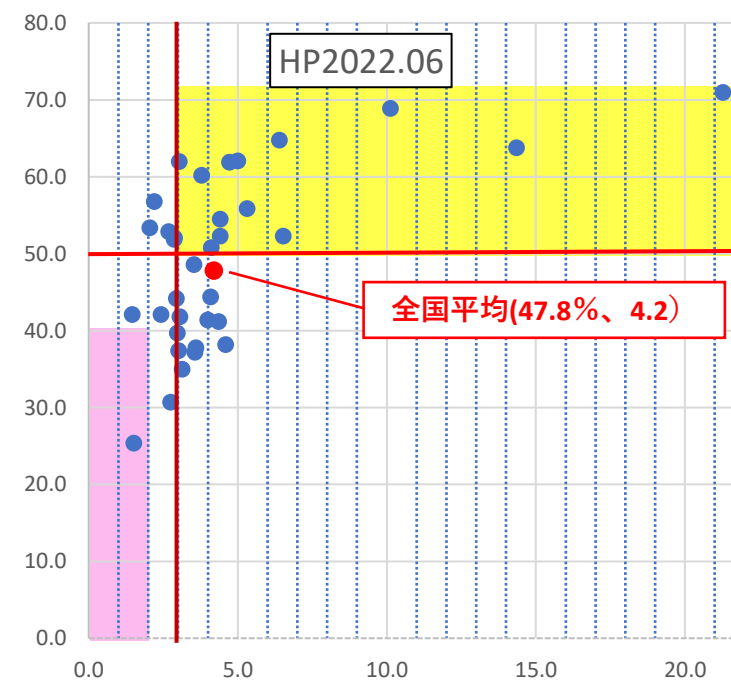
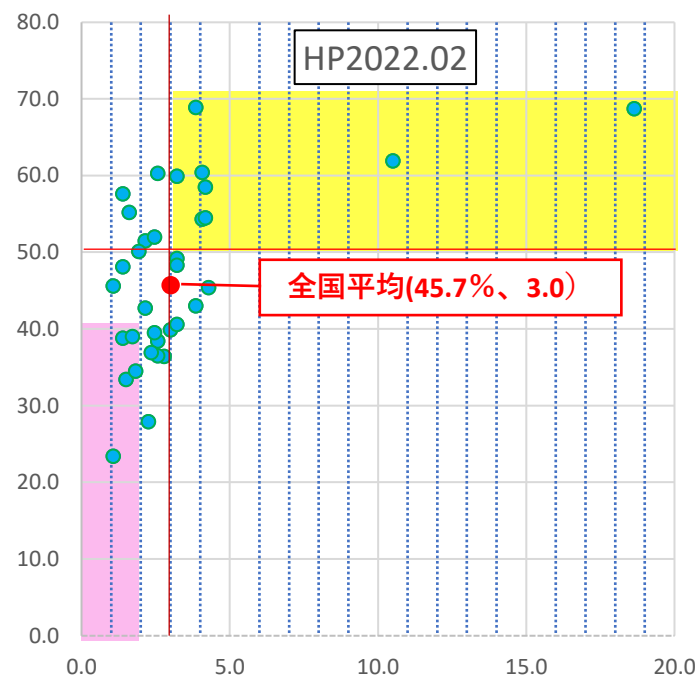
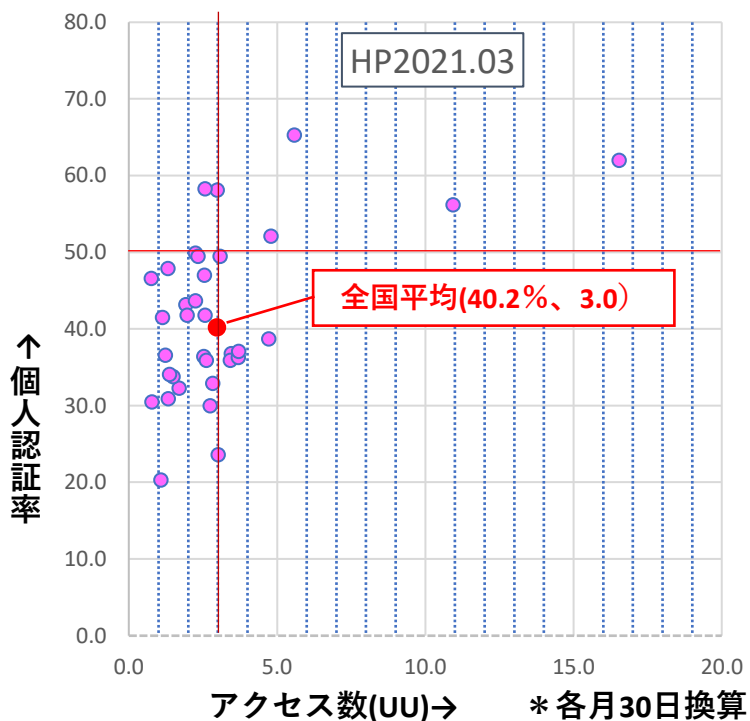
氏名 ▼▲	郵便番号 ▼▲	住所	役職有無 ▼▲	権限有無 ▼▲	SSO認証登録 日時
青●●●●	321●●●●	栃木県 宇都宮市御幸町 ●●●●●ゆ ●●●●			2000/01/01 00:00:00
青●●●●	329●●●●	栃木県 さくら市上阿久津 ●●●●			
青●●●●子	328●●●●	栃木県 栃木市城内町●●●●●●●●			2021/01/07 19:52:17
赤●●●●	320●●●●	栃木県 宇都宮市駒生町 ●●●●9			2000/01/01 00:00:00
赤●●●●	329●●●●	栃木県 宇都宮市中岡本町 ●●●●●			2020/11/08 19:19:57
赤●●●●	321●●●●	栃木県宇都宮市御幸本町●●●●0			2000/01/01 00:00:00
秋●●●●	321●●●●	栃木県 宇都宮市江曾島町●●●●5			2000/01/01 00:00:00
秋●●●●	329●●●●	栃木県 宇都宮市中岡本町 ●●●●4			2000/01/01 00:00:00

1-① 個人認証率・アクセス数(UU)推移

2021年3月～2022年6月の結果

■個人認証率50%以上・アクセス数(UU)3.0以上・・・5支部→8支部→13支部

■個人認証率40%未満・アクセス数(UU)2.0未満・・・7支部→5支部→1支部



2-① HPブロック別交流会（2021年度）

特に多かった現状の課題

■ HP 委員体制の問題

- ① HP 投稿者が少ない（HP 責任者+投稿者が1～3名の支部が大半）
→支部長+支部役員に対し、研修会をしている・・・未だ自ら投稿に至ってないことが多い
△先ずは支部長に率先垂範してもらい、支部役員を巻き込む（支部の広報活動の重要性）
- ② HP 委員・HP 投稿者は専門スキルが必要との従来の考え方をしている人が多い
△WP は従来より容易に投稿出来ることを理解してもらう
- ③ HP 責任者の後継者、継続性
*本部HP委員会としてサポートしていく（WPは本部HP委員がアクセス対応可能）
- ④ HP 委員が支部役員ではなく専任者（旧ホームページビルダーは専門性が求められた）
△専任者の場合、支部役員との連携・意思疎通が図れるようにする

■ 個人認証（SSO認証）がUPしない

- ①個人認証率UPはHP責任者がやることと思われる支部が多い
- ②支部役員全体で取り組まれていない
○支部独自（SSO認証以外）のメールアドレスを第一ターゲットに認証者を増やす
△支部長がリーダーシップを発揮し、支部役員全体で取り組む

■ コロナ禍で行事が出来ず投稿数減少の悩み（アクセス数増えない）

- ①活動報告型の投稿が多い。行事、同好会活動が出来ないので投稿数少ない。
△他支部のコンテンツを参考にする（「行ってきました」「自由投稿」など会員情報の発信）
△支部役員会、HP委員会などの支部取り組み+支部長メッセージ（支部情報発信）

■ メルマガの発信頻度（1回/月多い、複数回は少数）。毎回新着情報の発信（栃木、岡山、…）

- ①支部役員が分担して、担当している地区の会員にメール発信していることが多い（個別に）
- ②一度に多数（数百人分）送信は無料メーラーの場合エラーが起きる場合がある
○本部サーバー利用の「ACメーラー」を本部として紹介する（支部からの要望も多い）
*WPにプラグインされている「Mailpoet」の要望もあるが、画像込みメールなのでサーバー負荷が大きく、当面は「大阪市内支部」「河内和泉支部」に限定する。

2-② HPブロック別交流会（2021年度）

支部HP作成への支援体制

基本は支部内での引継ぎが原則だが、本部HP委員会として支援する

- HP管理者（HP責任者）はWPでもスキルはある程度スキルは必要
 - ① 支部内でノウハウを引き継ぐことが最重要・・・支部HPのカラー（独自性）の継承
 - △ 本部HP委員会としても全面支援を行う（新任HP責任者が悩まないようにする）
 - △ HP委員経験者からの継続したバックアップ体制（現役+OB委員による投稿体制）
- 投稿者体制づくり
 - ① WPの利点を生かした（高度なスキル不要）投稿者を増やす取り組み
 - △ 支部役員、同好会HP担当者などへの投稿要領の研修会

WPのテクニカル内容は定期的に講習会実施

- スマホ対応（F12画面確認、縦縞、見易さ、表の挿入、など）
- YouTube動画挿入
- GoogleAnalyticsの効果的な使い方、支部HP分析など
- Formmailer、acmailer対応（メルマガ、インタラクティブ）
- 業務システム、会員管理システムの理解（個人認証、E-Mail2の利用方法）
- Q & A対応

2022年度以降の取り組み

会員との双方向対話、支部の広報活動の要（支部全体で共有）

会員とのコミュニケーションプラットフォーム
としての 支部HPのありたい姿



目標設定と
PDCAサイクルを廻す

2-③ 2021年度ブロック交流会まとめ

2021年度ブロック交流会

出来たこと

- 個人認証は、全支部「気づき」が出来た
 - ・個人認証者と支部メール登録者の差異を無くす（第1ステップ）、次に未登録者へのアプローチ
- 他支部ホームページのコンテンツの取り入れ

出来なかったこと

- 支部長、支部役員を巻き込んだホームページづくり（だいぶ前進はしたが）
 - ・やはり支部長へのアプローチは大事（本部役員会等での繰り返し啓蒙）
- HP責任者の固定観念打破
 - ・（打破すべきこと）HP委員が少ない、投稿コンテンツ無い、個人認証必要性感じない、いくらやってもアクセス増えない、現在の支部の状況が見えてない（指標がない）

2022年度（案）

- 2021年度のブロック交流会は「気づき」の場として役目を果たした
 - 第2ステップは、「気づき」からの実践
 - ・支部HPの「ありたい姿」「目指すべき姿」のマイルストーン
 - ・定性的なもの（目的）の、評価尺度（目標設定）
- スキルアップ研修はオンラインで可能（定期的・希望者）
 - ・スキル差があるので、テーマに応じた参加
- マンネリ打破のフレッシュな意見交換は必要（オンライン、参加者限定でも可）
 - ・テーマはこれから（本部HP、支部HPのあるべき姿のディスカッション）

グループディスカッション①

■ テーマ

3月リモート会議での「気づき」を踏まえて
新たに設定した目標、取組みと進捗状況について

■ 時間

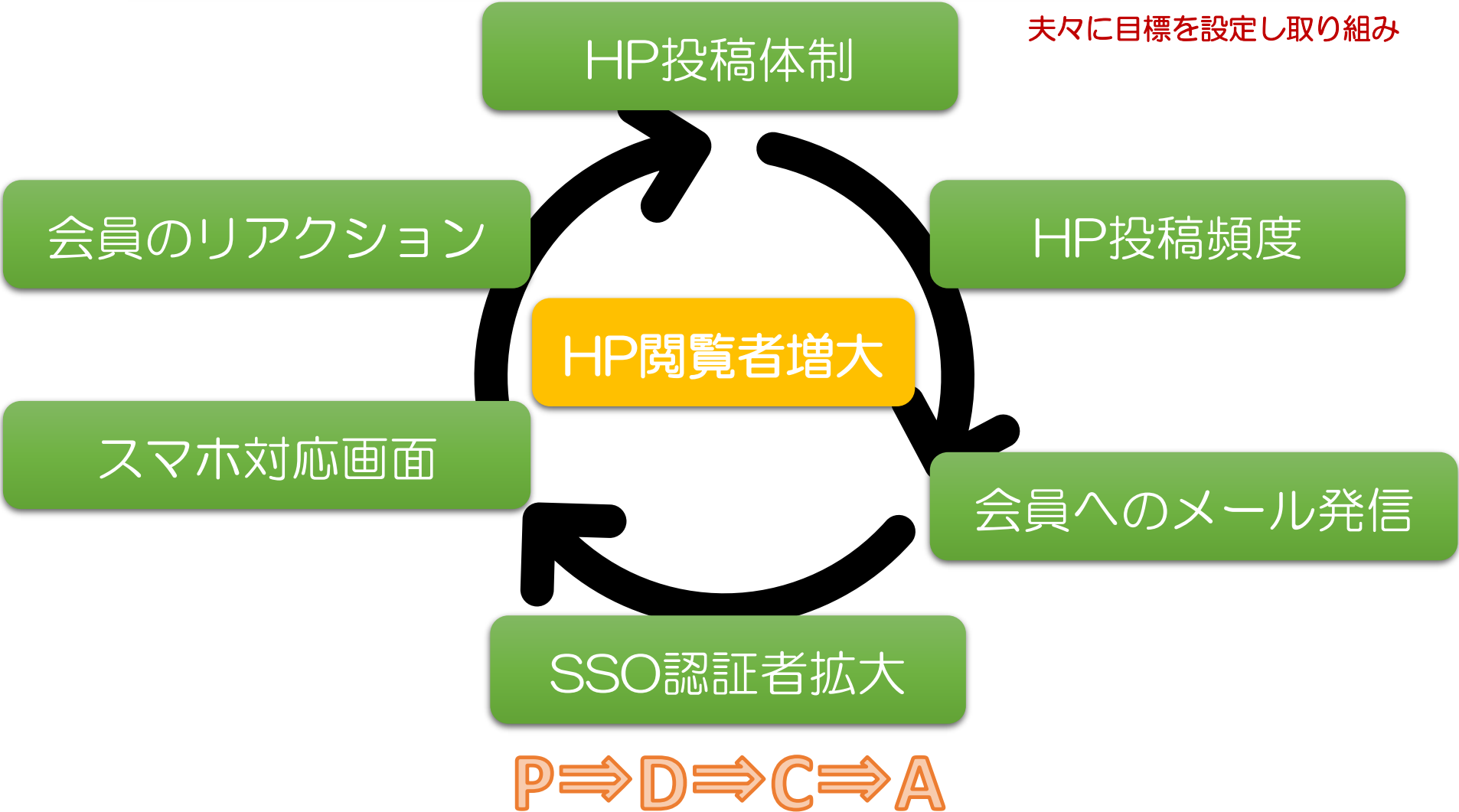
・ 100分

■ 進行・・・各ブロックにおまかせ

・ 「司会」「発表者」「書記」の選定

会員とのコミュニケーションプラットフォームとしての 支部HPのありたい姿

2021.10.18資料



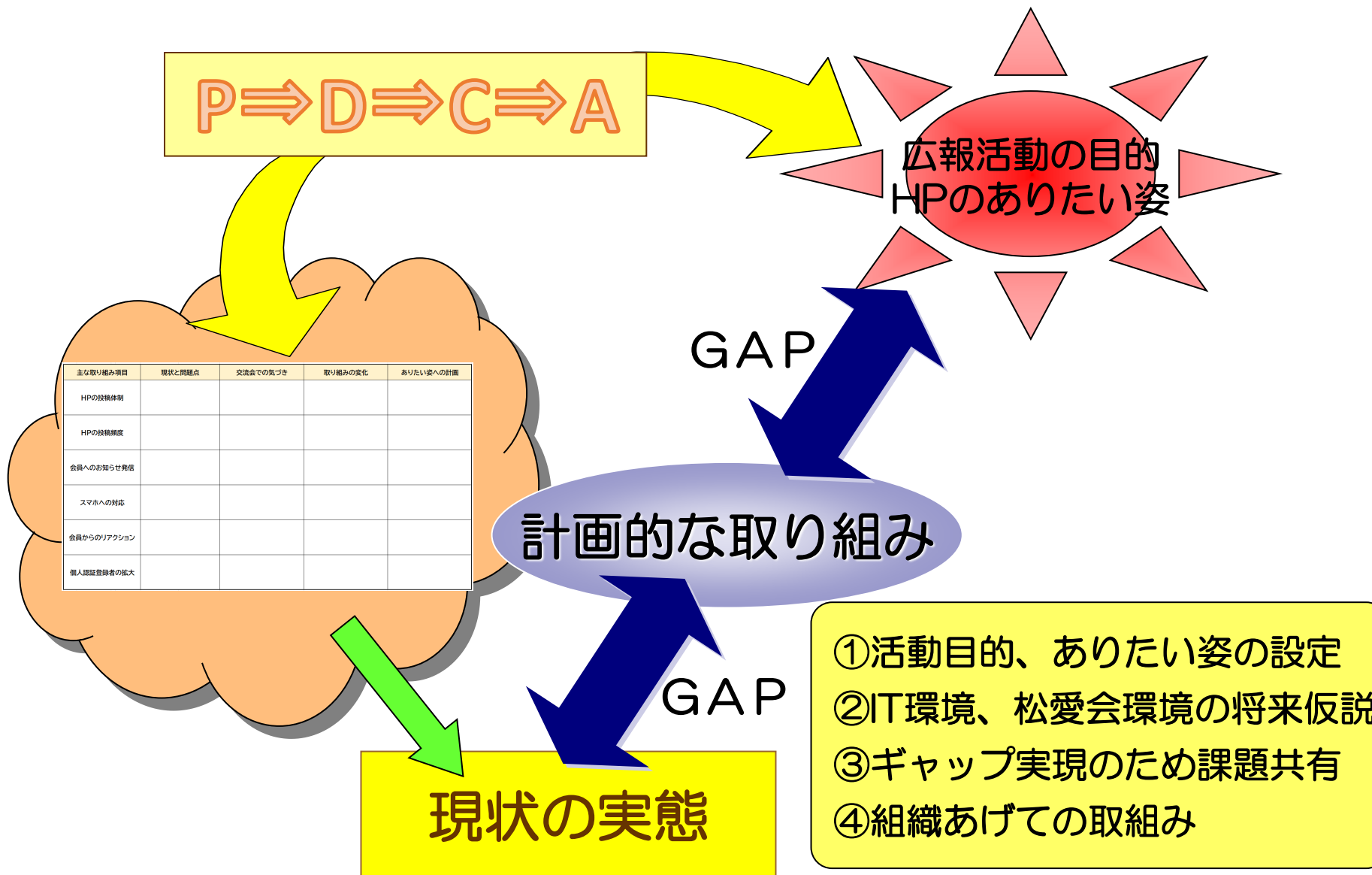
HPのありたい姿を目指した取り組み

2022.3.18資料

主な取り組み項目	現状と問題点	交流会での気づき	取り組みの変化	ありたい姿への計画
HPの投稿体制				
HPの投稿頻度				
会員へのお知らせ発信				
スマホへの対応				
会員からのリアクション				
個人認証登録者の拡大				

ありたい姿に向けてのP-D-C-A

2022.3.18資料



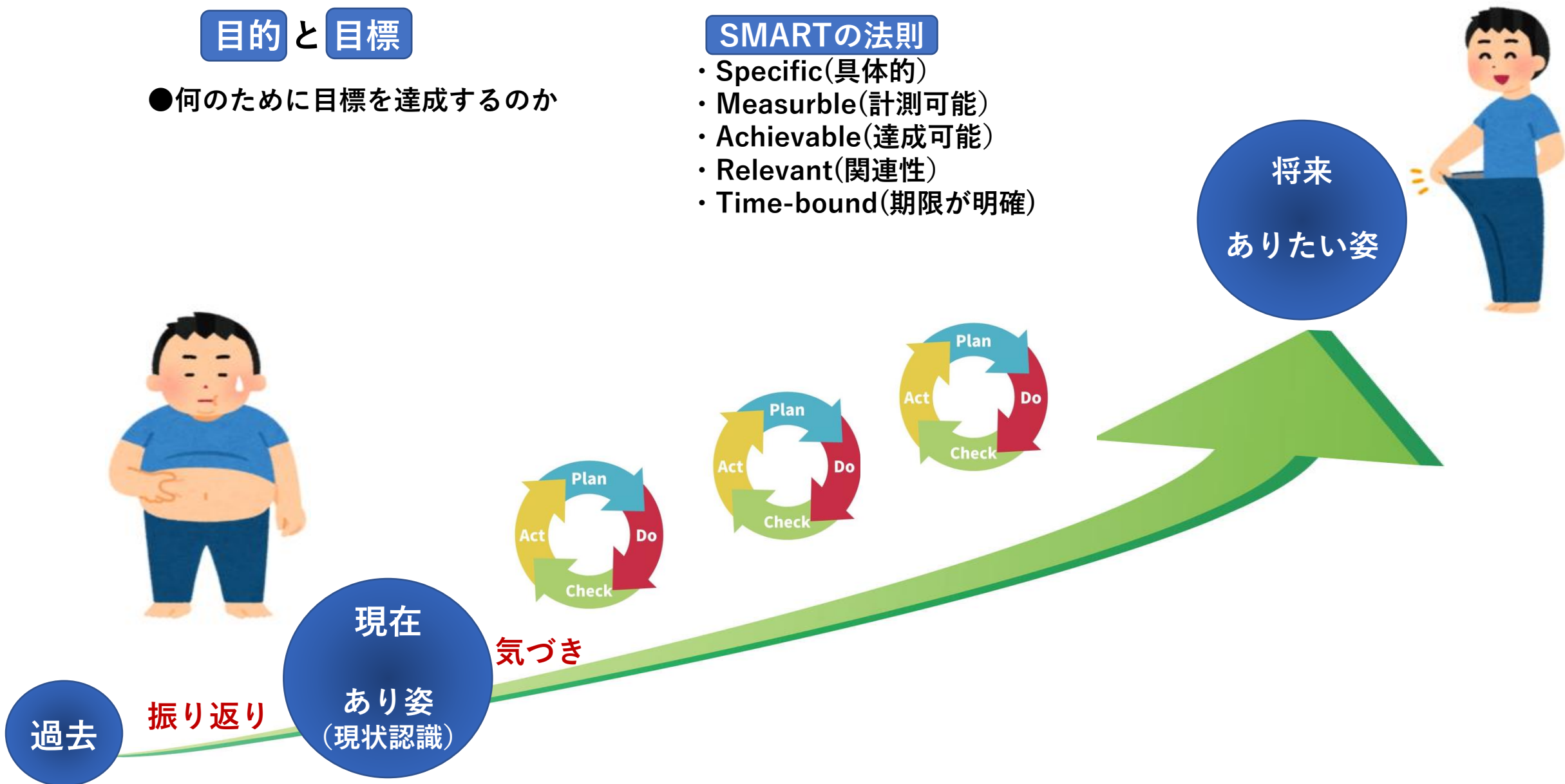
3-① HPのありたい姿

目的と目標

●何のために目標を達成するのか

SMARTの法則

- Specific(具体的)
- Measurble(計測可能)
- Achievable(達成可能)
- Relevant(関連性)
- Time-bound(期限が明確)



グループディスカッション②

■テーマ

- より良いHPを目指して、今後どうしていくか・・・
- ・「HPのありたい姿」を目指して取り組みたいこと
- ・「オンライン交流会」の要望テーマ

■時間

- ・100分

■進行・・・各ブロックにおまかせ

- ・「司会」「発表者」「書記」の選定

4-① 目標の明確化・可視化

■目標達成シート（マンダラチャート）・・・(株)クローバ経営研究所 松村寧雄氏（発案）

大谷 翔平 2012

0.0 体のケア	0.1 サリメント をのび	0.2 FSQ 90kg	1.0 イスラップ改善	1.1 体幹強化	1.2 軸をぶらさ 角度を上げる	2.0 上からボール をたたく	2.1 リストの 強化	
0.7 柔軟性	0.8 体づくり	0.9 RSQ 130kg	1.7 リリースポイント の安定	1.8 コントロール	1.9 不安をなくす	2.7 力まない	2.8 キレ	2.9 下半身主導
0.4 スタミナ	0.5 可動域	0.6 野球 杯 3杯	1.6 下肢の強化	1.5 体を開かぬ	1.4 メンタルコントロール をする	2.6 ボールを 前でリリース	2.5 回転数アップ	2.4 可動域
0.3 粘り強い 目標的	0.1 喜愛 しない	0.2 頭は冷静 心は熱く	0.1 体づくり	1 コントロール	2 キレ	3.0 軸でまわる	3.1 下肢の強化	3.2 体重増加
0.2 ピンチに 強い	0.0 メンタル	0.1 粘り強い 流れない	0.1 メンタル	0.1 ドラ1 8球団	0.2 スピード 160km/h	0.1 体幹強化	0.2 スピード 160km/h	0.3 肩周りの強化
0.1 涙を 流さない	0.1 勝利への 執念	0.2 仲間を 思いやるバ	0.1 人間性	0.1 運	0.2 変化球	0.1 可動域	0.2 ライター キャッチボール	0.3 ピッチング を増やす
0.0 感性	0.1 愛される人間	0.2 計画性	0.1 おいそつ	0.1 ゴッツイ	0.2 部屋を片づ	0.1 カットボール を増やす	0.1 フォーク完成	0.2 スライダー のキレ
0.7 思いやり	0.0 人間性	0.3 感謝	0.2 道具を 大切に使う	0.0 運	0.1 審判への 態度	0.2 速く落差の あるカーブ	0.0 変化球	0.1 左打者への 決まり球
0.0 礼儀	0.3 信頼される人間	0.4 継続力	0.1 プラス思考	0.2 応援される 人間になる	0.4 本を讀む	0.1 スレットと同じ フォームで投げ	0.2 スレットから ボールに投 げるコントロール	0.3 実行力を イメージ

夢があるとする

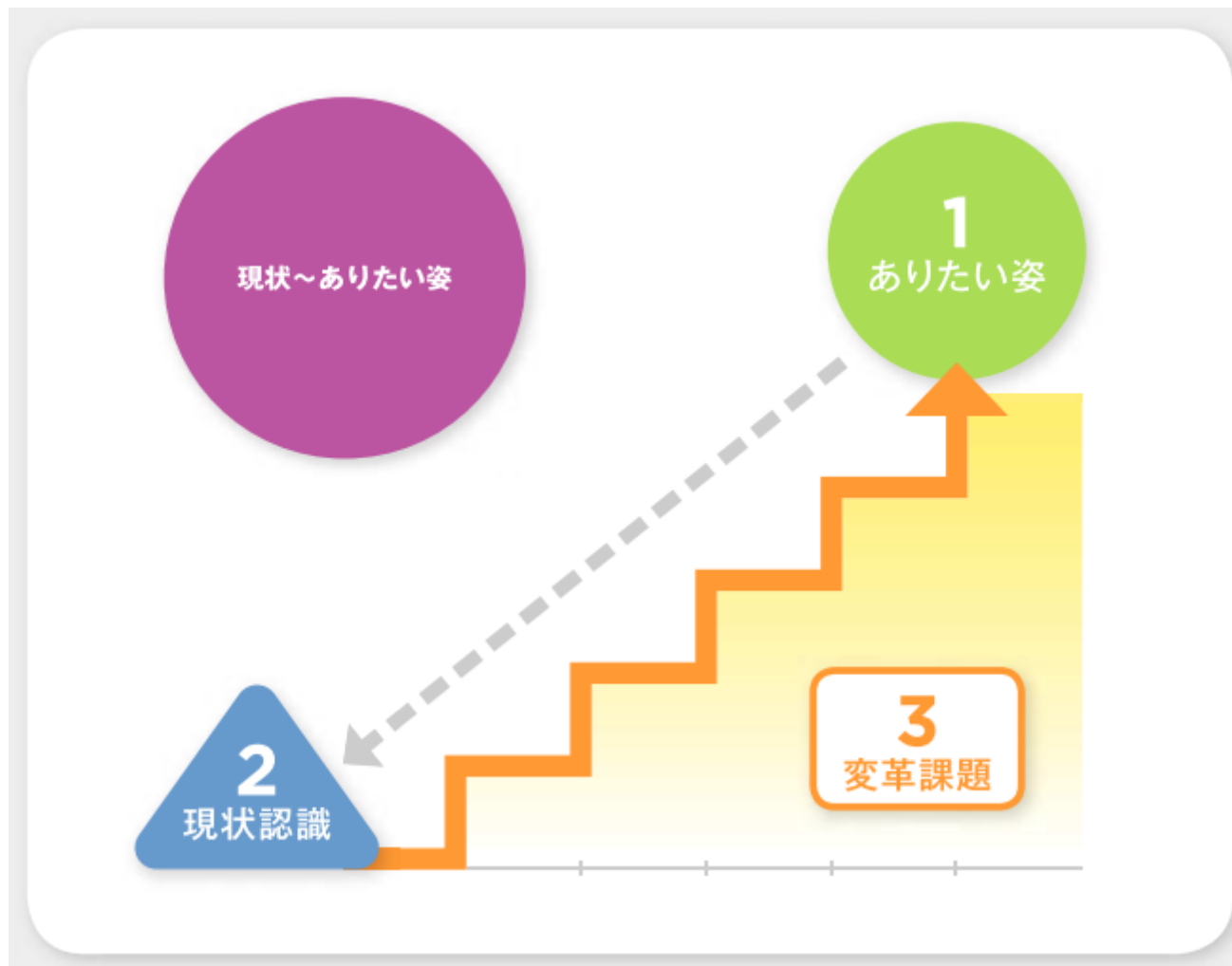
それを漠然と抱いているだけでは
ただ浮遊するのみで
ついに実ることはない

具体的な言葉や数値という
ピンで刺し留めてこそ
動きに力が備わる

花巻東高校
佐々木洋監督
(大谷翔平選手、菊池雄星選手)

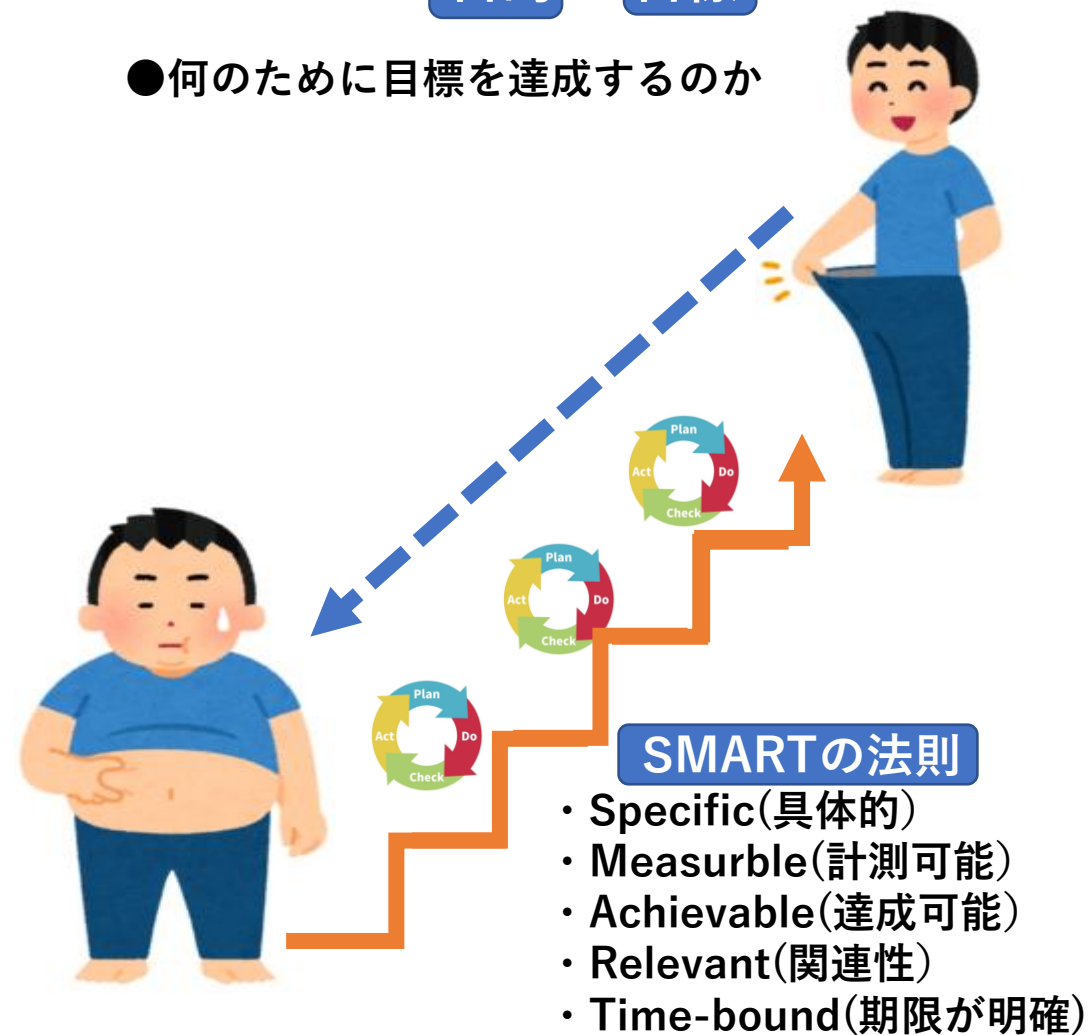
4-② ありがたい姿から現状を認識する

- 「ありがたい姿」を支部全体で考える（共有する）



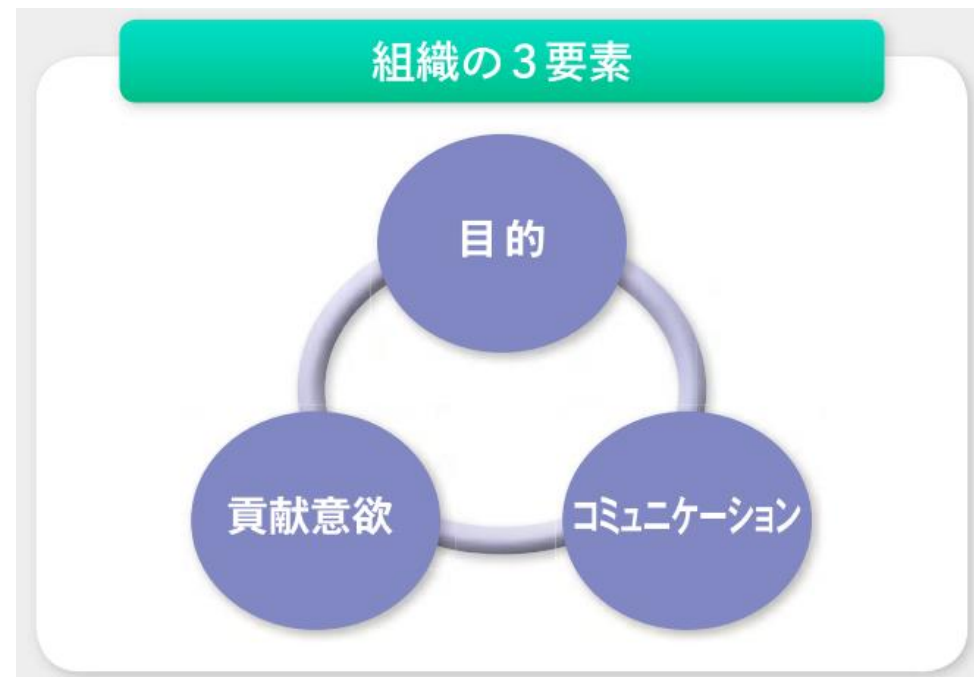
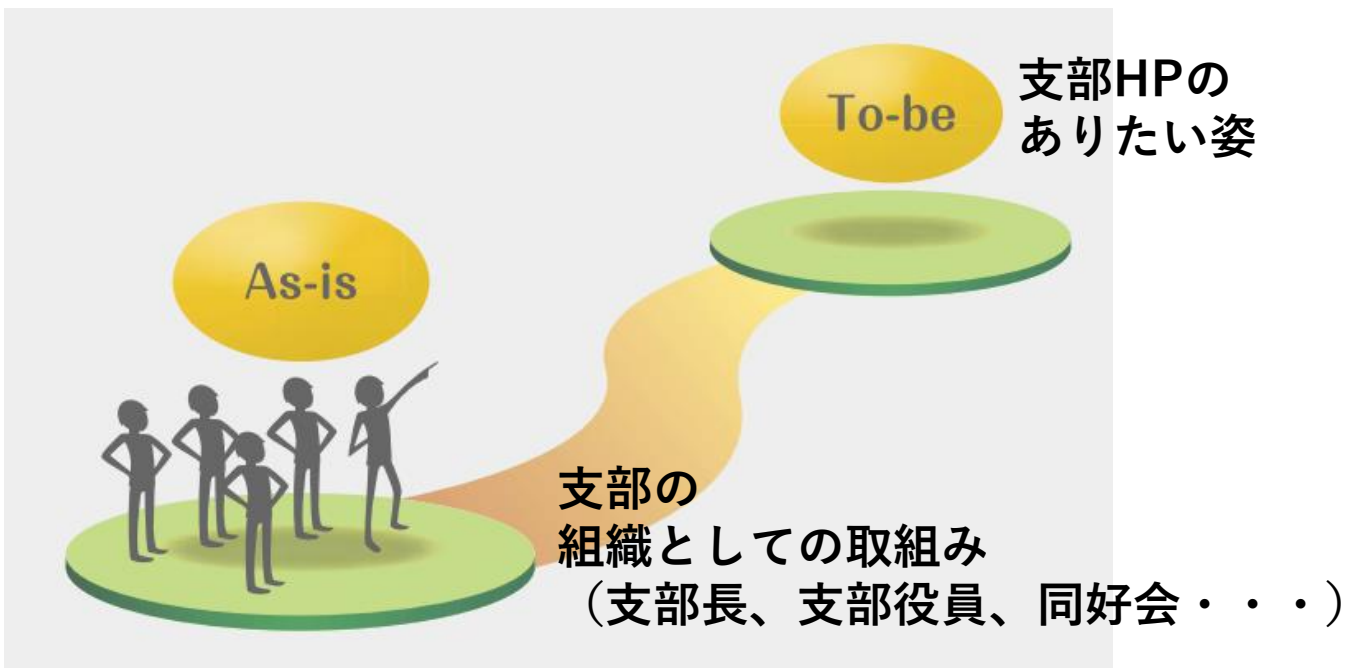
目的と目標

- 何のために目標を達成するのか



4-③ HPを組織で作り上げる

■支部のHPを組織的に共有する（継続性が大事）



暗黙知 ⇔ 形式知



情報を組織で共有化

* ナレッジマネジメント・・・個人がさまざまな方法で身につけたナレッジ（知）を組織全体で共有し、組織として新たなナレッジを創造する

* SECI(セキ) モデル・・・野中氏・竹内氏(一橋大学) が提示した広義のナレッジマネジメントのフレームワーク
「協同化」「表出化」「連結化」「内面化」

2-① 2021年度ブロック交流会まとめ

2021年度ブロック交流会

出来たこと

- 個人認証は、全支部「気づき」が出来た
 - ・個人認証者と支部メール登録者の差異を無くす（第1ステップ）、次に未登録者へのアプローチ
- 他支部ホームページのコンテンツの取り入れ

出来なかったこと

- 支部長、支部役員を巻き込んだのホームページづくり（だいぶ前進はしたが）
 - ・やはり支部長へのアプローチは大事（本部役員会等での繰り返し啓蒙）
- HP責任者の固定観念打破
 - ・（打破すべきこと）HP委員が少ない、投稿コンテンツ無い、個人認証必要性感じない、いくらやってもアクセス増えない、現在の支部の状況が見えてない（指標がない）

2022年度（案）

- 2021年度のブロック交流会は「気づき」の場として役目を果たした
 - 第2ステップは、「気づき」からの実践
 - ・支部HPの「ありたい姿」「目指すべき姿」のマイルストーン
 - ・定性的なもの（目的）の、評価尺度（目標設定）
- スキルアップ研修はオンラインで可能（定期的・希望者）
 - ・スキル差があるので、テーマに応じた参加
- マンネリ打破のフレッシュな意見交換は必要（オンライン、参加者限定でも可）
 - ・テーマはこれから（本部HP、支部HPのあるべき姿のディスカッション）

HPのありたい姿を目指した取り組み

HPのありたい姿

主な取り組み項目	過去(振り返り)	現在	「気づき」から「変革」すること	目標(出来るだけ数値化)
例:双方向コミュニケーション(会員からの返信)	例:1コンテンツ(2019年)	例:7コンテンツ(2022年)	例:50周年記念行事参加をフォームメラーにて申込み、議案書審議投票	例:10コンテンツ(2023年度)
閲覧者数増加 (アクセス数増加)	例:1.0(2020年)	例:3.0(2021年6月)	例:全役員投稿・毎日投稿・メルマガ発信・優良コンテンツ	例:10.0(2022年)3日に1回
HPの投稿体制	例:HP1人	例:HP2人+支部長	例:支部長の率先垂範が大事、記事の投稿はみんなでするもの	例:20人体制(全支部役員+同好会+α)・・・2022年度
HPの投稿頻度	例:5回/月(2020年)	例:10回/月(2021年6月)	例:投稿増に向けコンテンツ増重要投稿スケジュール作成	例:30回/月・・・2022年度毎日投稿
個人認証登録者の拡大	例:35%(2020年)	例:50%(2022年6月)	例:支部保有とE-mail1を同期、優良コンテンツを会員専用化	例:70%(2022年12月)